



地域情報が満載の “JCVCモバイル”



上越タイムスニューストップへ戻る

人魚像脇に「恋人の聖地」選定プレート設置

鶴の浜温泉海岸、“恋愛成就の地”来場者
増を期待

2015年2月4日 13時30分配信



「恋人の聖地」に選定された上越市大潟区の鶴の浜温泉海岸に3日、金色の選定プレートが設置された。設置場所は、伝説にちなんで建っている人魚像の脇。“恋愛成就の地”に多くの人を訪れることが期待される。

恋人の聖地は、NPO法人地域活性化支援センターによる事業。9年前から、全国各地のロマンチックなスポットを選定している。鶴の浜温泉海岸の選定は1月1日付で、県内4カ所目となった。

この地域には、常夜灯を頼りに会っていた若い男女の純愛が「人魚伝説」として伝わる。伝説は、小川未明の童話「赤い蝋燭（ろうそく）と人

魚」のモチーフになったといわれている。

市の補助金を活用し、昨年10月に申請していた鶴の浜温泉観光組合によると、選定委員からは「人魚伝説は例がない」というオンリーワンのほか、伝説にまつわる建造物があり、海の近くに温泉街があることや、水平線に沈む夕日の美しさが評価されたという。

英文が刻まれたプレートの設置を受け、佐野正典組合長（41）は「新幹線で上越に降り立つ動機の一つになり、若い人にもっと鶴の浜に来てもらえれば」と話した。

組合では定期的にイベントを行ったり、インターネットを活用したりして、周知を図っていくことにしている。



HOME



BACK